

日本での一年

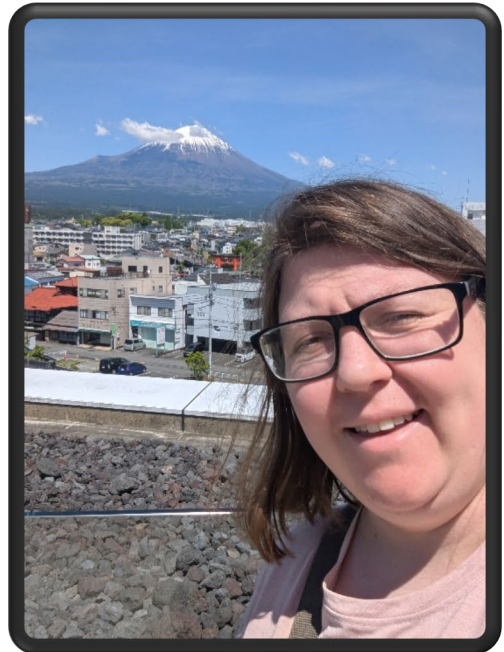
お茶の水女子大学

メイスナーベサニーフランスス

学生番号: k2590076

私は日本での１年間に、たくさんの場所へ行きました。神奈川県では小田原市と箱根と横浜と町田と海老名市と本厚木、静岡県では伊豆半島と富士宮市、山梨県では富士河口湖町と古墳、長野県では諏訪市と松本市と川上村、新潟県では新潟市と佐渡島、愛知県では名古屋市と豊橋市を訪れました。その場所にいる時に、私はその県の文化を学んで、その県の生活も学びました。

春休みの時に、私は東京の神狼というマンガの作文のコンペティションに入りました。そのマンガは Sho-Comi (小学館) という漫画雑誌で連載しています。その作文のコンペティションを勝って、１／５０キーホルダーをもらいました。授業で学んだことを、自分の好きなことに生かすことができたので、これは私が一番誇りに思っていることの一つです。



授業で、お茶の水女子大学の小学校の子どもたちと会いました。そして、日本の学校についてもっと知ることができました。また、狂言や歌舞伎や文楽を見ました。授業で、日本語や日本の文化も勉強しました。

お茶の水大学に勉強する間に、私は狂言サークルと書道のサークルに入って、茶道に行ってジブリ映画館部に入って浴衣と着物を着て、タコ焼きパーティーに行きました。そのイベントと経験から日本の文化を学びました。

私にとって一番大変だったのはクリスマスでした。イギリスの家族と離れて過



す初めてのクリスマスだったからです。しかし、一人でも自分らしいクリスマスを楽しむことができました。例えば、落語を見に行ったり、石焼き肉を食べたり、日本橋のクリスマスイルミネーションの下でスタンプラリーを楽しんだりしました。

お茶の水女子大学のりゅないのチームのみなさん、事務手続きでたくさん助けてくださり、本当にありがとうございました。また、音羽館のみなさん、初めてのアパートで安心して生活できるように助けてくれて、ありがとうございました。

そして、学生アドバイザーの千葉先生、学生バディの小倉優花さんと野村美晴さんにも心から感謝しています。1年間、いろいろなことを教えてくださり、支えてくださって、本当にありがとうございました。